

創立から1年間の歩み

●ファーマーズマーケットの充実 物流プラットフォームの確立

農業所得向上の一翼を担う管内のファーマーズマーケット・直売所17店舗を物流で結ぶ「物流プラットフォーム」を構築しました。

また、「新しい時代の八百屋」をコンセプトに三島函南地区に新店舗「みしまるかん」を開店。ファーマーズマーケット販売網の充実を図りました。



「みしまるかん」オープン

●あぐりチャレンジ事業

当JAの新規事業で、営農の目玉企画として展開。意欲ある生産者の新たな農業生産の取り組みに対する助成事業で、生産者とJAが一体となり、取り組みの実現を目指しています。

初年度は28事業を採択。合計約2,719万円を助成しました。同事業は本年度も継続していきます。



なんすんプチヴェール部会が機能性を表示した新パッケージを導入

●地域の拠点となる 施設の充実

新たなJAにマッチし、地域の拠点とすべく店舗建物などの新築や更新を行いました。

(地区本部や支店、ふじのみや資材館、御殿場肥料倉庫、天翔苑 長泉 など)



下田支店のテープカットを行うJA関係者

●地区本部運営委員会 代表者会議

運営委員会の最高組織として、各地区2人の代表者で構成。

管内が広域化する中でも、組合員の皆さまの声を伺いその意思をJA経営に反映させながら事業活動を進めていきます。



各地区から上がった意見を協議する出席者

●生産資材高騰対策

当JAでは、肥料特別価格の提案・土壌診断・同診断費用の一部助成・牛乳販促・特別融資など独自の支援を展開。管内19市町に対して役職員が市町を訪問し、農家への支援を要請しました。



行政に支援を要請するJA役職員(左)

●スマート農業の導入

農業生産性の効率化と高度化を目指して、農業用ドローンを活用した農業散布の自動省力化、全自動移植機・収穫機導入による作業の省力化など、スマート農業の導入を進めました。



苗の全自動移植機の導入

●各地区で農業祭開催

各地区で新型コロナウイルス感染症に配慮しながら農業祭を開催。特色あるイベントを実施し、当JAと特産物のPRを行いました。数年ぶりの開催に多くの皆さまが来場し、生産者や職員と親睦を深めました。



農産物品評会・出品展示

●女性部・青壮年部の設立

当JA女性部・青壮年部は昨年6月に設立。女性部はSDGsの理解を深めながら食農教育などを展開。青壮年部は記念誌や統一ユニホーム製作などを通じて、盟友同士の意思統一を強化しました。



女性部設立総代会

SPECIAL NEWS
特集

JAふじ伊豆創立1周年記念

東部一円 一致団結 1周年

～これからも組合員の皆さまと共に考え共に行動するJAに～

令和4年4月1日、静岡県東部一円のJAが一致団結して「JAふじ伊豆」が誕生し、1年が経ちました。創立以来「富士伊豆からつなぐ～大地と地域と農業のみらい～」を経営理念に、さまざまな自己改革を実践してきました。

本年度からは新たに2か年計画「組合員とともに創造“農業と協同の未来”」と自己改革工程表「持続可能な農業・地域共生の未来づくり」をスタートし、農業振興と豊かな地域づくりを目指していきます。

今回の特集は、組合員の皆さまと当JAが共に取り組んできた創立から1年間の歩みをご紹介します。

組合員と共に 農業振興と 豊かな地域づくり



代表理事組合長

鈴木 正三

JAふじ伊豆は本年4月1日に創立一周年を迎えました。この一年間、組合員の皆さまをはじめ、関係各位には当JAの諸事業に対しご理解とご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。創立以来、JAの使命である農業所得の増大や農業生産の拡大、そして地域社会への適切なサービスの提供を将来にわたり継続していくことを念頭に置き、事業に取り組んでまいりました。今後も営農アドバイザー育成による営農支援強化や意欲ある生産者を応援する「あぐりチャレンジ事業」を推し進めてまいります。

また、管内では多彩な農畜産物が生産されており、市場出荷と併せて、物流プラットフォームを活用して各地区の共同販売を管内の農産物直売所で販売する地産地消の推進、そして直接販売や買取販売などの多様な販売チャネルの取り組みも拡大してまいります。

また、各種生産者組織や支店・地区本部運営委員会などを通じて、組合員の皆さまの声を事業運営に反映していきたいと考えています。

本年度、新たに2か年計画がスタートします。農業とJAをめぐる環境変化に対応するため、生産基盤・事業基盤・組織基盤・経営基盤の4つの視点から課題解決のための重点取組事項を軸に総合事業を展開し、組合員の皆さまと共に考え共に行動し、皆さまの負託に応えるよう努めてまいります。

本年度もJAに対し倍旧のご支援ご協力をお願い申し上げます。皆さま方のご健勝とご多幸を祈念してあいさついたします。

創立1周年に 寄せて

地区本部運営委員会
代表者会議

会長 **青木 陽一**さん



JAふじ伊豆は全国でも有数の大規模JAになり、組合員数も増えましたが、組合員からの意見集約を定期的に行っています。組合員の声に耳を傾け、どのように対応したらより良くなるのか積極的に改善しようと取り組んでくれています。

今後も組合員に寄り添い、意思反映をした運営を行ってほしいです。各地区の良い点などJAを通じて情報交換しながら取り入れていきたいです。

富士宮地区
う宮～な農畜物等
直売所出荷者協議会

会長 **石井 孝忠**さん



合併により各地区のファーマーズマーケットでの農産物販売交流ができ販路が広がって良かったと思います。今後はJAも生産者も旧態依然とした固定観念にとらわれず、各ブランド農産物の高品質維持のほか、生産から販売まで環境や時代に即した経営戦略を立てながら「農業で成り立つ経営」を築かなくてはと思います。

互いに知恵を出し伸ばし合いながらJAふじ伊豆のブランド力を高め、もっと親交を深めていけると嬉しいです。

JAふじ伊豆青壮年部

部長 **植松 稔**さん



JAふじ伊豆の初年度に青壮年部の部長をさせていただきまして大変光栄に感じています。合併を機に統一ユニホームや設立記念誌の作製を通して内外に新生・青壮年部をPRすることができました。また三島函南地区の新嘗祭への奉納野菜の収集やイチゴの勉強会など地区の垣根を超えた活動を行うことができました。

盟友数約500人を誇る青壮年部が一致団結し、さらに良い活動ができるようJAに期待しています。

JAふじ伊豆女性部

部長 **福島 初代**さん



私は御殿場市に住んでいるので、伊豆半島は温泉旅行や観光地巡りで行く遠方の地域という認識でいました。合併したことで伊豆地域や富士山の南西麓地域のことを各地区の女性部活動を通して知る機会があり、県東部を身近に感じることができました。

各地区の女性部は自分たちの得意分野を生かした活動をしています。今後は互いの良いところを参考に、JAふじ伊豆女性部全体の活性化につなげていきたいです。

合併のおかげで今まで知らなかった各地域の特産品を広報誌で見させていただきました。遠い所へ旅に出かけなくてもファーマーズマーケット巡りの旅でもしてみたいと思います。

(60代女性 下田市)



当JA管内は各地区にさまざまな特産品があります。季節ごとのファーマーズマーケット巡りもおすすめです。

伊豆太陽地区広報
岡村 恵美

広報誌、地区版広報誌をはじめ、YouTubeやTwitter、LINEなどのSNSでも情報を発信しています！



なんすん地区広報
大嶋 知美

JAふじ伊豆になって広報誌の内容が豊富になり、いろいろな情報が得られ、今まで以上に楽しみになりました。期待しています。

(60代男性 裾野市)

合併により今まで知らなかった地区の情報が分かり、とても楽しく読んでいます。

(60代男性 御殿場市)



御殿場地区広報
井上 郁子

管内は静岡県東部地区全域！JA職員全員でさまざまな情報を発信し、皆さまにお届けしていきます。

応援ありがとうございます。当JAのファーマーズマーケット・直売所は地元生産者の皆さまが毎朝出荷！鮮度も抜群です。

あいら伊豆地区広報
川口 亜紀子



いつもJAの直売所で野菜や花などを購入しています。スーパーとは違う良さがありますね。これからも新鮮で良い品を届けてください！頑張れ～

(60代女性 熱海市)

創立1周年！！ 組合員の皆さまからの メッセージ & 広報誌の おたよりご紹介

1歳の誕生日を記念して
組合員の皆さまからメッセージをいただきました。
広報誌「ふじ伊豆」も創刊から1年を迎えました。
創刊号から今年1月までに寄せられたおたよりは4,000通以上！
いただいたおたよりの一部を令和4年度の広報担当者がご紹介します。

JAが合併して、広い東部の特色がこの広報誌に集約されています。それぞれの地区の農業祭に出かけてみたいと思わせます。

(50代女性 富士宮市)



コロナも落ち着きをみせた昨年度は数年ぶりに農業祭を再開した地域も！今後もふじ伊豆のイベント情報に注目です！

富士宮地区広報
石川 里紗

富士でクワイフルーツが生産されているのは知りませんでした。私たちの近くはイチゴとトマトが盛んなので新鮮な気持ちになりました。伊豆半島、東部、富士などさまざまな特色がありますね。

(60代女性 伊豆の国市)



各地区で特長ある農産物が生産されています。皆さまに味わっていただけるように情報発信を頑張ります！

伊豆の国地区広報
梅原 綾花

8つのJAが合併して大きくなりましたが職員の方は前と変わらず接してくれてありがたいです。

(70代男性 三島市)



三島函南地区広報
奥村 彩恵

私たち職員も、地域の皆さまに合併後も変わらず温かく接していただき感謝しています。今後もよろしくお祈りします。

自信のあるお顔は、自信のあるおいしい農産物を作っているからですね。私も組合員の皆さまからたくさんのお元気をいただきました。

農家の方々の自信のあるハツラツとした笑顔に元気をいただいています。

(70代女性 富士市)



富士地区広報
望月 綾